



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL <https://corporate.gii.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 莊祐
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102
 四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 2023年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,539	△1.0	311	△14.9	346	△13.2	219	△19.8
2022年12月期第2四半期	1,554	13.6	365	25.9	398	26.4	274	27.3

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 219百万円(△19.8%) 2022年12月期第2四半期 274百万円(27.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	74.63	74.43
2022年12月期第2四半期	93.06	92.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,906	2,203	75.8
2022年12月期	2,751	2,050	74.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,203百万円 2022年12月期 2,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2023年12月期	—	26.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,497	17.2	747	19.2	748	15.5	498	13.7	168.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年12月期 2 Q	2,947,500株	2022年12月期	2,947,500株
2023年12月期 2 Q	81株	2022年12月期	81株
2023年12月期 2 Q	2,947,419株	2022年12月期 2 Q	2,946,437株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年9月8日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページ（<https://corporate.gii.co.jp>）に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景に地政学リスクの高まりや資源価格の高騰が見られ、経済情勢は依然として先行き不透明な状況が続いております。日本国内においては、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が緩和され、景気が緩やかに回復しつつある一方、物価の上昇や為替変動等が国内経済に与える影響も懸念され、依然として注視が必要な状況となっております。

そうした中、当社グループが属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社グループは2022年12月期を初年度とした3か年の中期経営計画『GII Vision 2024』に基づき、商品面では、幅広い顧客ニーズに対応するため、WEBサイト掲載レポートのラインナップ拡大を図っております。販売面では、レポート本文の翻訳を行うAI翻訳ツールの提供や顧客の要望に対応したレポートのカスタマイゼーション等により、顧客満足度の向上に努めました。同時に、各種WEBマーケティング施策や広告媒体への出稿を行い、GIIブランドの認知度向上による顧客基盤の拡大を図っております。また、新型コロナウイルス感染症対策の制限緩和に伴い、国際会議・展示会事業を再開しております。

株式会社ギブテックにおいては、ZETA通信の基本デバイス(基地局、中継器)及びセンサー類を含む自社ブランド製品「JAZE」シリーズの製品ラインナップを拡充し、スマートファクトリーをはじめ様々な分野での用途拡大に向け、事業展開しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,539,398千円(前年同期比1.0%減)、営業利益は311,162千円(前年同期比14.9%減)、経常利益は346,055千円(前年同期比13.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は219,965千円(前年同期比19.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、各部門間の連携強化による営業・販促活動の活性化やレポートのカスタマイゼーション等を通じた顧客満足度の向上に努めてまいりました。本社部門においては、市場調査レポートの受注は前年と同水準で推移しており、売上高は前年同期をわずかに上回りました。海外部門においては、台湾支店及びヨーロッパ支店が好調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比1.3%増の1,330,027千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門、海外部門いずれにおいても好調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比24.2%増の92,319千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、委託調査案件数の減少と受注単価が低下しており、本社部門、海外部門のいずれにおいても、売上高は前年同期を大きく下回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比37.0%減の84,071千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、海外渡航の規制緩和にあわせて、国際会議・展示会の取り扱い商品を拡大しております。当社を經由した会議・展示会の参加者数は回復傾向であり、本社部門、海外部門合計の売上高は前年同期を大

きく上回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比668.9%増の13,234千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比0.2%減の1,519,654千円となり、セグメント利益（営業利益）は326,704千円となりました。

（その他事業）

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、受託開発等を主な事業にしております。展示会への出展等による製品の販促活動を進めており、売上高は前年同期比39.2%減の19,744千円となり、セグメント損失（営業損失）は、16,201千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、154,564千円増加の2,906,155千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、144,381千円増加の2,812,164千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の281,165千円増加、売掛金の143,781千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、10,183千円増加の93,990千円となりました。この主な要因は、繰延税金資産の11,455千円増加等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1,094千円増加の702,219千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、7,499千円減少の416,917千円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の37,638千円減少、賞与引当金の27,773千円増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、8,594千円増加の285,302千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の7,560千円増加等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、153,470千円増加の2,203,936千円となりました。この主な要因は、利益剰余金の153,648千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は75.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ、281,165千円増加し、2,517,077千円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は320,202千円（前年同期は239,124千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益345,955千円、賞与引当金の増加27,773千円、売上債権の減少130,194千円、仕入債務の減少25,495千円、法人税等の支払額107,904千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は590千円（前年同期は1,171千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出748千円、敷金及び保証金の回収による収入372千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は66,279千円(前年同期は96,109千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額66,279千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表(2023年2月10日付)いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,235,863	2,517,029
売掛金	322,980	179,198
商品及び製品	4,748	10,217
原材料及び貯蔵品	8,728	20,609
前渡金	84,034	71,892
その他	11,427	13,217
流動資産合計	2,667,783	2,812,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,849	23,478
工具、器具及び備品（純額）	2,478	2,646
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	39,268	39,065
無形固定資産		
商標権	157	145
ソフトウェア	1,687	1,124
その他	465	465
無形固定資産合計	2,310	1,735
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,195	27,650
その他	26,032	25,539
投資その他の資産合計	42,228	53,190
固定資産合計	83,807	93,990
資産合計	2,751,590	2,906,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	101,075	63,437
未払金	12,579	17,290
未払法人税等	97,900	127,618
未払消費税等	56,298	45,864
前受金	121,259	107,672
賞与引当金	4,816	32,589
その他	30,487	22,444
流動負債合計	424,417	416,917
固定負債		
退職給付に係る負債	20,458	21,492
役員退職慰労引当金	256,250	263,810
固定負債合計	276,708	285,302
負債合計	701,125	702,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,497	162,497
資本剰余金	141,505	141,505
利益剰余金	1,745,845	1,899,493
自己株式	△145	△145
株主資本合計	2,049,703	2,203,351
非支配株主持分	762	584
純資産合計	2,050,465	2,203,936
負債純資産合計	2,751,590	2,906,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,554,566	1,539,398
売上原価	821,082	828,856
売上総利益	733,483	710,542
販売費及び一般管理費	367,787	399,379
営業利益	365,696	311,162
営業外収益		
受取利息	143	155
為替差益	24,198	34,517
債務勘定整理益	8,793	112
助成金収入	56	57
その他	1	48
営業外収益合計	33,193	34,892
営業外費用		
その他	138	-
営業外費用合計	138	-
経常利益	398,751	346,055
特別損失		
その他	-	100
特別損失合計	-	100
税金等調整前四半期純利益	398,751	345,955
法人税、住民税及び事業税	133,424	137,623
法人税等調整額	△8,778	△11,455
法人税等合計	124,645	126,167
四半期純利益	274,105	219,787
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△93	△178
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,198	219,965

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	274,105	219,787
四半期包括利益	274,105	219,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,198	219,965
非支配株主に係る四半期包括利益	△93	△178

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	398,751	345,955
減価償却費	1,834	1,426
敷金償却	334	334
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26,379	27,773
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,572	1,034
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,748	7,560
受取利息及び受取配当金	△143	△155
助成金収入	△56	△57
為替差損益 (△は益)	△43,892	△27,832
その他の損益 (△は益)	-	100
売上債権の増減額 (△は増加)	44,187	130,194
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,425	△17,329
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,068	△25,495
その他の資産の増減額 (△は増加)	3,765	△1,810
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,328	△13,803
小計	413,509	427,894
利息及び配当金の受取額	143	155
助成金の受取額	56	57
法人税等の支払額	△174,584	△107,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	239,124	320,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△971	△748
無形固定資産の取得による支出	△200	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	△214
敷金及び保証金の回収による収入	-	372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,171	△590
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	952	-
配当金の支払額	△97,061	△66,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,109	△66,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,892	27,832
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	185,735	281,165
現金及び現金同等物の期首残高	2,091,232	2,235,911
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,276,967	2,517,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,312,462	—	1,312,462	—	1,312,462
年間情報サービス	74,360	—	74,360	—	74,360
委託調査	133,541	—	133,541	—	133,541
国際会議・展示会	1,721	—	1,721	—	1,721
その他	—	32,480	32,480	—	32,480
顧客との契約から生じる 収益	1,522,086	32,480	1,554,566	—	1,554,566
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,522,086	32,480	1,554,566	—	1,554,566
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,522,086	32,480	1,554,566	—	1,554,566
セグメント利益又は損失 (△)	371,302	△6,266	365,036	660	365,696

(注) 1. セグメント利益の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去660千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,330,027	—	1,330,027	—	1,330,027
年間情報サービス	92,319	—	92,319	—	92,319
委託調査	84,071	—	84,071	—	84,071
国際会議・展示会	13,234	—	13,234	—	13,234
その他	—	19,744	19,744	—	19,744
顧客との契約から生じる 収益	1,519,654	19,744	1,539,398	—	1,539,398
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,519,654	19,744	1,539,398	—	1,539,398
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,519,654	19,744	1,539,398	—	1,539,398
セグメント利益又は損失 (△)	326,704	△16,201	310,502	660	311,162

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去660千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。